

NEUTRAL 通信 vol.4

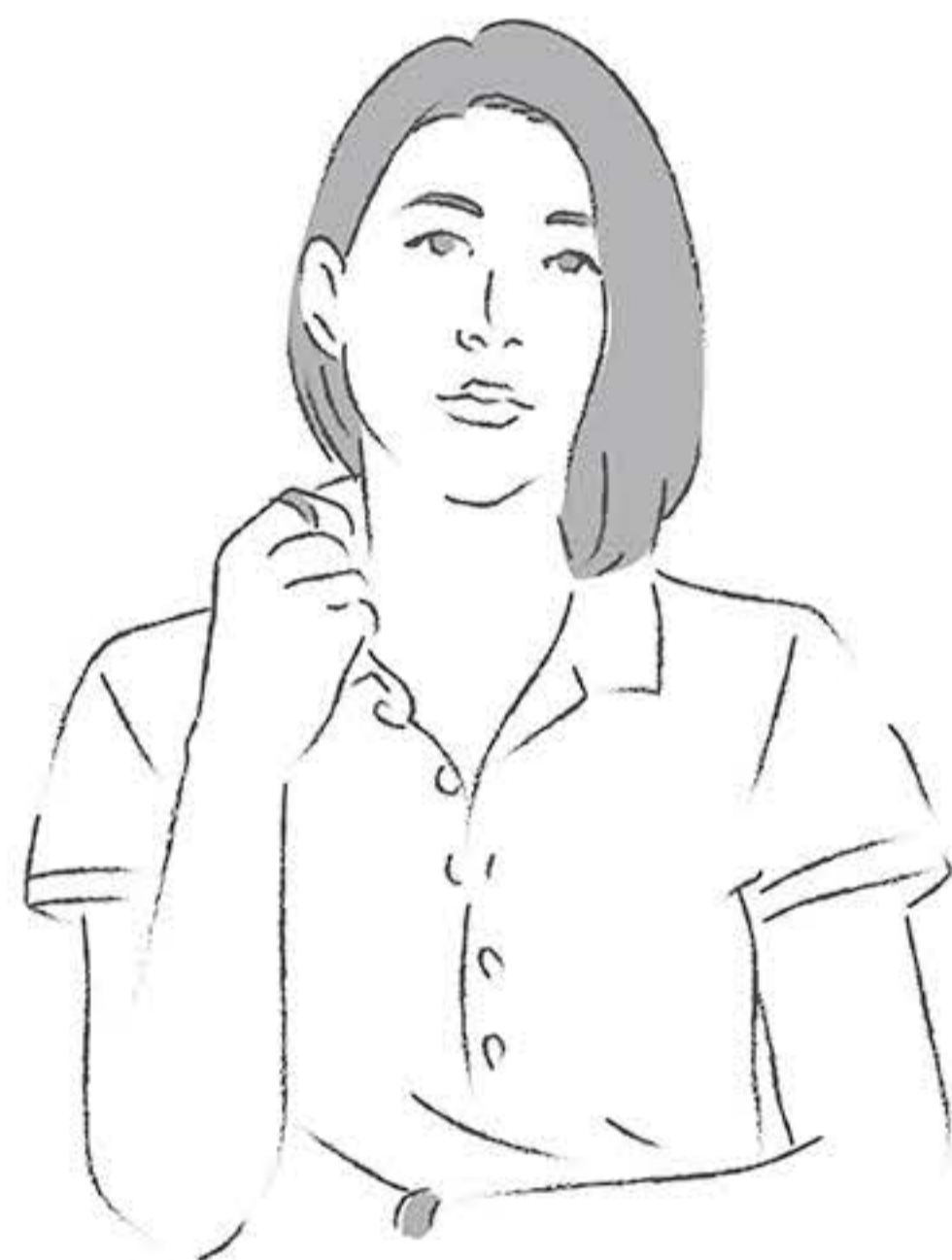
「まるで本屋に立ち寄るかのように、アートやクラフトを気軽に楽しんでもらいたい」
という NEUTRAL のコンセプト実現に向け、NEUTRAL 通信を発行しています。

第4回目は、銅版画家さんにインタビュー。

NEUTRAL 通信が作品鑑賞のヒントとなりますように。

GLASSES

2022.11.3 thu. - 11.18 fri.



銅版画家

片岡愛貴 / MIKI KATAOKA

片岡愛貴(1992年福井県生まれ)は、アクアチント技法を用いた丹念な描写を強みとする銅版画家。"状況により無限に変化し続ける光と影。その複雑な因果関係を紐解き、最も美しい瞬間を版に記録する。"というコンセプトのもと制作に取り組む。

主な発表に「第10回高知国際版画トリエンナーレ展」(いの町紙の博物館/2017)、個展「一間」(ザターミナル京都/2022)、「Woolwich Contemporary Print Fair」(ロンドン)では2019年と2022年に Directors' top 10 picks に選出されるなど、国外にも活躍の場を広げている。

堀川新文化ビルディング 館内インフォメーション

大垣書店
OGAKI BOOKSTORE



SHOKODO
KYOTO

NEUTRAL

Gallery P A R C
GRAND MARBLE

堀川中立売通を西に行くと「蘭州牛肉拉麺」という中華・台湾料理のお店があります。そこの「牛肉麺」が美味しく、気づくと週に一度は食べるようになりました。地域でお店をしていると、そういった出会いもとても大事に感じます。堀川新文化ビルディング店も皆様にとってそういうお店になればと思うこの頃・・・。

営業時間：10:00～22:00 TEL：075-431-5551

朝晩の冷え込みも厳しくなり、コーヒーやラテがより一層おいしく感じる季節となりましたね。ご存じの方も多いかと思いますが、当店では自家焙煎豆を使用しています。ブレンド比率は・・・エチオピア産の豆が味の決めてとだけ教えておきます。近々もう少し大きい焙煎機の導入を予定しておりますのでぜひ見に来てくださいね。

営業時間：8:30～23:00 TEL：075-431-5551

昌幸堂店舗内のギャラリーで、11.08 tue. から 11.26 sat. まで「TEXTILE Making of TAPESTRY」を開催いたします。TAPESTRY は、第 55 回造本装幀コンクールで主要 3 賞の東京都知事賞にえられた五味岳久の全歌詞集。装幀やデザインをした一野篤のスケッチや印刷・製本の生産工程のサンプル等の展示や記録映像をご覧ください。

営業時間：10:00～18:00 TEL：080-4248-3432 月・日祝 定休

[EXTRA-NEUTRAL]
西陣金襴展「西陣ゴゴッ」
2022.11.03 thu. - 11.13 sun.
「Pandōrā」Yusuke Sato
2022.11.18 fri. - 12.04 sun.
営業時間：10:00～19:00 TEL：075-431-5537

「からみあうものきざまれたとき」 山添潤
2022.11.05 sat. - 11.20 sun.
営業時間：13:00～19:00 TEL：075-334-5085 水・木 定休



〒602-8242 京都府京都市上京区皂莢町287
[アクセス]
○地下鉄東西線「二条城前」駅より徒歩15分
○京都市バス9番・12番・50番・67番系統
「堀川中立売」バス停下車徒歩1分
○駐車場・駐輪場あり
※満車の場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。



ホームページ



Instagram

お問い合わせはHPまで



——作家を志したきっかけや、子供時代の話を教えてください

作家を志すことになった大きいきっかけは無いんですけど、もともと絵を描くのも好きですし、手芸とか工作とか全般モノ作りは好きで、料理とかとりあえず手を動かすことがなんでも好きな子供時代でした。中学校の時に、美術の先生に美大っていうものが世のなかにはあるから、あなたはそこに行った方がいいって言われて、漠然と美大っていうところに行こうと思っていました。ただ、高校は両親の願いもあって進学校に行ったんですね。まわりはとにかくいい大学に行くという雰囲気でしたが、私は芸大を目指していたので、嵯峨美に行きました

——美大は受験のしくみが違うと思うのですが進学校としての勉強をしながら美大の受験対策を別でされたのでしょうか

そうですね。高校に入って画塾が近くにあったので、そこに一年生の時からずっと通って、受験用のデッサンとか、あと水彩画とかの勉強をして、だから私の基礎はたぶん画塾のころにあるのかなっていう感じがします。

美大のコースは日本画で、そのときはいろんな大学の卒業制作展とかをみて、日本画がいいなって思って。それだけの理由で志望したんです。そのころは彫刻とかデザインよりはペイントって感じくらいで。日本画で大学に入って、二回生のころになったら本格的に日本画の技法で制作しだすんですけど、その時になんか違うなって思って、三回生で転科できるので、なんとなくなんですけど版画を選んで。今の技法に出会ったのは三回生の版画の基礎をやっている時なんですけど、そのときは全然しっくりこなくて。水彩画が好きだったのでやっていたんですが、卒業制作展を考えた時に、これもう一回やってみたらいいんじゃないかって思ったのが今の技法で。

——今回の作品について教えてください

銅版画のアクアチントって言う技法で、一版、一色で水彩画のようなきれいなグラデーションが出せる技法なんです。シルクスクリーンとか木版画ではなかなか一版できれいなグラデーションが出せないの、あの技法をやるうって卒業制作に臨んで、そこでビタツとはまった感じがしたんですよ。今までガラスが好きでガラスの瓶を描いたりしてたんですけど、卒業制作展で、構図とか、サイズ感とか、技術も上がったのかもしれないですけど、いろんなものがバチっとはまったんですね。作品の評価も良くて、少し前向きになれたので、卒業してからもうやろう、と思いました。

——制作環境についてお聞かせください

大学に勤めているので、製版とか、薬品使ったり、印刷、プレス機を使うのは大学でしていて、描画の部分は家に持ち帰ってやることもあります。家に持ち帰るといつまでもできちゃう、っていうのもあるんですけど、やっぱり家の方が集中できますね。

——好きな作家や影響を受けた作家がいれば教えてください

伊庭靖子さんが好きで、大学の研究室に画集があって知ったんですけど、こんなに静物を、生き生きとは違うんだけど、淡々と描いてる感じ、うまく表現できないですけど、衝撃をうけて。あと、ジョルジョ・モランディも好きなんですよ。この人も静物ばかり描いてる人で。あとは結構白黒写真も好きなんですよ。……そうですね、静物画が好きですね。

——展覧会に来られた方に一言

ヴィジュアルですべて表現しているの、見て感じていただけたらと思います。



お気に入りの本・最近読んだ本

ヴォルフガング・ティルマンズの写真集

『モモ』 ミヒャエル・エンデ 岩波少年文庫